

厚生文教常任委員会 行政視察報告書

1 視察日程

平成30年10月26日（金） 午前10時～午前11時30分

2 視察先及び目的

視察先 : 山形企業局 村山電気水道事務所
目的 : 村山広域水道施設の視察

3 視察者

委員長 榎 正義
副委員長 東海林信弘
委員 丹野 貞子、増川 修、齋藤 隆、細矢 誓子、石垣 光洋
上下水道課 軽部 課長補佐
議会事務局 中野 局長補佐

4 視察内容

村山広域水道施設の視察（本町の水道事業との関わりなど）
村山電気水道事務所 出席者
中村 副所長、鈴木 副所長、保科 業務主任

○山形県企業局

【概要】

「電気」	水力・太陽光発電 県内の14発電所で電力供給
「水道用水供給事業」	村山・置賜・最上・庄内（南・北）の4圏域
「工業用水道事業」	酒田・米沢（八幡原）・新庄（福田）へ供給
「公営企業資産運用事業」	県営駐車場、県民ゴルフ場の経営

○村山電気水道事務所

村山地域に水道用水を供給する「村山広域水道用水供給事業」と村山・置賜地域の5発電所の保守管理及び置賜地域の2発電所を含めた「電気事業」を行っている。

○村山広域水道は寒河江ダムを水源とし、西川町吉川地内の西川浄水場で浄水処理を行い供給している。



水ができるまでの工程の説明を受けました

村山地域の6市6町（山形市・寒河江市・上市市・村山市・天童市・東根市・山辺町・中山町・河北町・西川町・朝日町・大江町）に水道水を供給している。

- ・ 1日最大給水量 122,500 m³/日
- ・ 河北町への給水量 平成29年度（実績） 6,447 m³/日



水がどんどんきれいになっていきます

○施設の更新工事については、今後10年間の中長期計画に基づいて実施していく。

- ・ 平成30年～31年にかけて、電気設備の更新を実施予定。
- ・ 河北町では、送水管の耐震化工事が進められている。

5 所感

○平成25年の豪雨で、濁度上昇（3,000以上）による送水停止（断水）に対する対策改良工事がすでに実施されていた。

（薬剤タンクの増設、フロック形成池への中間ポンプ設置、天日乾燥床の増設など）濁度上昇の要因としては、寒河江川にそそぐ支流の山崩れにより、沼山取水口付近に流れ込んだものと考えられる。対策として関係機関による情報共有の目的から「水源環境連絡調整会」が設置されている。

○施設内の設備など説明を受けたが、各家庭へ送水する使命が強く感じられた。

6 まとめ

○責任水量は県と市町村との契約で進められていて、それを基に施設を整備し運営している。

今後、設備の更新と人口減少などが大きな課題になってくる。

○本町の責任水量と自己水源の活用（造山水源地、治部橋水源地）の課題は県企業局との課題であると改めて認識した。



村山電気水道事務所の職員の皆さん、お忙しいところ説明いただきありがとうございました